油豆行情（中曆三月十九日）

粱市元豆六吊百至六三吊二百
秫價錢五吊四百文至五吊
粱市共上車三十餘輛
棧東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙	全	一圓八十錢
一連紙	一連	一圓
一フールスカツプ	全	四圓
一中判洋紙	全	二圓
一半紙野紙	百枚	二十錢
一卷紙	四十枚續	十四錢

一[illegible]	一[illegible]四圓五十錢
一椅子	一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥	三十圓以上三十五圓
一卓子	四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛	六圓以上十二圓
一廚房用戶棚	七圓五十錢以上十圓

一絨毛布	一枚モノ	四圓以上六圓五十錢
一長火鉢		八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢		二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢	一對	六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料 一ヶ月以內 一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

滿洲日報

○報價目 每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例 一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

三井

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所 橫濱 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 天津 北京 大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

竹島丸 十八日出帆太沽、芝罘、門司、神戸
營口丸 廿四日 仝

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口 代理店 旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告

日勝丸 二十日 門司、橫濱行
御代丸 十九日 門司行
日の出丸 二十日 大連、長崎行
鎮海丸 廿三日 門司、橫濱行
勢德丸 廿二日 門司行
仁壽丸 十八日天津行（天津定期）
萬成源丸 龍口定期

乘船切符は弊行にて發賣仕候

松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着

朝日ビール、スペシヤルライト 廉價販賣仕候

滿洲一手販賣元 松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

盛航丸 廿四日入港
能登丸 廿日門司行

代理店 [illegible] 東營口公園地横 遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗、粗布、綿絲布、荷花標布、東洋緞子、紋緞子、絨布、手巾、花巾、洋燭、火柴、鐵表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧易勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助 謹白

開設老爺閣街同盛德院內 電話 店一八三番 住所五五番

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口棉紗、布疋、火柴、洋麵、糖、煤雜貨、發行並滙兌銀錢、兼代客經理買賣粗船裝運事宜、營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡船輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼擁有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿 謹白

東永茂

横濱油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚恩遇知之 正理事 潘玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南磐乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號

保險運各幇火輪船生意兼賣各樣洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北磐乙第十三號

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議 西北街 西義順棧內 東櫃（電話九十五番） 西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達） 櫻花牌（撓利） 百合花牌（利利） 均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買無不致誤 謹此廣告

本行瀛船

摩耶山丸 顯朝丸 專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全兵有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也 營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司
本公司開立巳久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元，分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行

電話 第六十六號 第九十一號

周 鐵道 遼河 裕和盛運輸局

（電話八十一號） 在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧 總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 髙濱麟太郎 謹啓

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸 丸三洋行分莊謹啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口至遼河沿各埠[illegible]專船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知 東櫃開設 營口南永世街北斗洋行 西 營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年會與日本製造名廠料有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

志岐組木料棧材料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し候に付督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし 營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白 營口瀛華實學院

丸重洋行 貨物運輸

啓者 本行前在營口臺實雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉值籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞 電話 營口 八拾八番 牛家屯 四拾六番

東三省電報總局廣告

援選啓者頃接上海電稱 各省將軍都統督撫院提鎮藩臬運道臺各關局憲均鑒 美屬舊金山地震成災 僑寓各國商工民人驟遭慘厄 美廷迅即救援各國亦均自救其僑民 華商三萬餘人產業全燬 仰蒙 聖慈 沛發肆萬兩 飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊 馳往賑撫華民 因而寓滬紳商奮起 一切情形均見日報海寰等先就 上海萬國紅十字會 籌湊 銀貳万兩 寓滬粵商 湊集 洋伍千元 購美金電匯一面 仍偕各紳商多方設法 藉示華商以 朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅 謹此電聞倘 尊處本擬籌撥款項 請速匯 美京梁使收撥或將款匯滬交商會製取收條爲憑代買美金轉匯 總祈迅速籌濟爲要 呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉字泰瑞徵京炳榛沈敦和任錫汾周晉鑣曾鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈 各貴官 商惠鑒 如有軫念同胞慨籌急賑者 請速將款逕匯美京或上海商會 否則逕請就近交由各該處中國電報局 代收一面先給收條一面電匯滬轉 以期迅速救我僑民 不勝企禱謹啓

東京電報

●**日英銀行の成立** 日英銀行は十五日倫敦にて發表四萬株を告げ直に成立資本總額二千萬圓なり

●**首相と林大使** 林大使十六日首相を訪ひ緊要の協議あり

●**外相新任發表期** 專任外相の親任は兩三日中ならん

●**外國公使の首相訪問** 十六日露公使バクメテフ氏十五日獨公使ムンム男首相を訪問せり

●**諸大將の滿洲視察** 樺山、伊東、黑木、井上良馨の陸海軍大將等本月下旬横須賀を發し大連に向ひ戰役地視察の豫定

●**軍用棧橋使用認可** 大連軍用棧橋は今回一般公衆の使用を許可する旨陸軍省より各運輸業者に通牒せり

●**釜山博覽會開館** 釜山博覽會十六日開館せり

●**競馬會發起會** 東京競馬會十六日發起會を開く (以上五月十七日發電)

倫敦電報

●**土耳其問題の落着** 土耳其は終に英國の要求に應せりグレー卿は下院に於て演說して曰く土耳其の回答は英國の希望に適當し双方より境界限定委員を任命し現狀維持を努むべし境界はラヘツトより東南方アカバより三哩の地點に亘る目下の情況より推せば條約の細目も全く滿足なる落着を見るべしと

●**司令官刺さる** 露都に於ける不評判の司令官一名露曆五月一日勞働者が祝賀會を催さんとせしを禁止せんとせしために殺されたり

●**駐淸英公使の出發** 新任北京駐劄ヂヨルダン卿はエムプレスオブブリテーン號にて七月六日英國出帆

●**死骸は首領ガポン** 露國溫泉場オシルキのある別莊の天井よりぶら下がり居りたる死骸は革命黨の首領ガポンなること判明せり

●**土耳其問題後聞** 在コンスタンチノープル、ロイテル通信員の報に依れは去る十二日土耳其政府が英國の要求に應じ回答せし時英國大使オーコンノル卿は其書式に付て異議あり翌十三日中に全然申込みに應ずべきことを要求せり其他の筋の電報に因れば境界限定に關する土耳其の回答は非常に不得要領にして好き時機あらば又此紛議に就き談判を開くことを得る餘地を存せりグレー卿は今午後下院に於て其始末を報告すへし (五月十四日發電)

雜報

●**滿州殘留露兵** 露國の滿州撤退兵は一々衛兵を附し小部隊つゝ還送する爲め今日まで撤退したるは全軍の七割位に過ぎず殘り三割は尙哈爾賓に在れは全部の撤退を終るは早くも本年七八月頃なるへしと云へり

●**外相と駐墺公使** 林大使の入閣及び從つて起るへき二三外交官の交迭は大略內定し居れは已に若槻大藏次官一行も歸朝せるを以て之か交涉を遂けたる上遲くも本月中には外務大臣の新任と同時に駐墺公使の任命をも見るへしといふ

●**湖南の洪水** 湖南の湘江は過般來漸次增水し始め目下未曾有の水量に達し其流域は何れも非常の水災を蒙り家屋の流失人畜の死傷無數なり殊に湘潭は浸水家屋火災に罹り市街の大半燒失せり長沙の城外に在りし我郵便局始め商店等は何れも城內に避難す領事館は無事今日迄日本人には幸に死傷あるを聞かす湘南との電信既に久しく不通となり湖南汽船會社は强ひて汽船を航行せしむれども荷、客共殆と皆無本年の米作は不況なるへしと七日附水野漢口領事より報告ありたりと

●**海軍省の辯明** 木村海軍技師の事業なる無線電信無線電話に關し獨逸のルーメル氏か反駁を試みつゝありしか其後の報道に依れば伯林無線電話會社伯林ターグブラツト新聞ルーメルの三者合同して益々木村氏攻擊の記事を掲け罵詈讒謗の辭を臚列し終に呼ぶに盜賊の惡名を以てするに至りたれば我海軍省に於ても事態默止すへからずとなし不日辯明書を公表すへしと云ふ

●**北韓開拓案** 北韓經營の事は世人の大に注目する所なるか次の諸問題は其中尤も注目に値すへきものなりと

一、會寧鐵道の起點淸津を開港場となし六鎭間島琿春附近の貨物を浦鹽斯德韓國諸港日本北海岸開港場に輸出し各六鎭西間島琿春西の地方に日本の貨物を輸入すること

一、六鎭西間島の地方を開拓すること

一、鴨綠江上流の木材と日淸木材會社の伐採木材并に甲山銅鑛の鑛石及鴨綠江上流甲山地方に於て需用する貨物を運搬する目的を以て城津より甲山を經て惠山鎭に私設鐵道を敷設すること

一、度支部に於て咸興より長津原野を經て帽兒山に至る道路を開通して吉林に通ずる道路開通の豫備を爲し兼て長津原野を開拓すること

●**東露の貿易事務館** 沿海州漁業條約成立の曉には本邦人の同方面に移住する者少らさるへきか從來同方面には浦鹽に一の貿易事務官駐在するのみ本邦漁業者の出稼者增加するに至らは今日の儘にては到底不便を免れさるを以て當局者は日露戰役の結果樺太コルサコフにありし帝國領事館か廢止せられたるを幸ひ同領事館に要したる經費を轉用し沿海州に貿易事務館を增置し出稼本邦人の便宜を計ると共に內定し追て日露通商條約協定の際露國政府に之が交涉をなす筈なりと

●**外資借入訓令** 各府縣知事は其筋の內訓に據り自今日本興業銀行に於て外資を輸入し各地方公共團體に對し低利に貸附くへきを以て從來已に借入れ居る者若くは將來借入れんとする高利公債あらば其金額及び利率等詳細取調へ至急稟申すへき旨各郡市長に訓令せりと

●**露國新首相略歷** 去五日ウヰツテ伯の辭表裁可と同時に新に露國首相に任命されたるゴレミキン氏の略歷左の如し
氏は千八百三十九年ノブゴロツト州に生る幼にして家庭の教育を受け其後帝國法律學校に入り千八百六十年好成績を以て卒業し同年參事院第一局に奉職せり千八百六十四年ボーランド立法部委員に任せられ爾來久しくボーランドにありて第二局の檢事長となり千八百九十一年司法次官、同九十四年參事院議官に任せらる九十五年二月內務次官に轉任し十月內務大臣となりアレキサンドル、ネウスキー勳章を授けらる九十六年五月五日を以て總理大臣に任す

●**重要輸出品と鐵道** 農商務省にては本邦より海外に輸出する重要品の價格を出來得丈け低廉にし以て海外市場に於ける本邦品の聲價を發揚せしむるの手段方法に關し調査研究の結果取敢へず繭、生糸、茶、羽二重、花莚、漆器、綾糸等の鐵道輸送賃を或程度まで低下せしめんとを鐵道作業局に交涉したるに同局にても輸出品價を低廉ならしむるは鐵道國有の大眼目なるを以て直に之か交涉に應し繭及び製茶運賃を百斤一哩に付各一厘以上引下け其他の品類に就ては目下調査中の由なれは近日引下けを見るに至るへしといふ

●**慶親王の辭職** 北京朝廷の柱石たる慶親王は過般來老衰し加ふるに老病日を逐ふて甚しきより辭職を申出でたるも兩宮より聽屆けられす頗る信賴深きを以て尙ほ社稷の爲め力を盡すへき旨の諭示あり慶親王も今日淸國の形勢上また强ゐて辭する場合に至らす尙ほ暫らくは辭職を見合する事と爲りたる由

●奉天通信

五月十五日 特別通信員報

▲**營口八厘捐税の免收** 奉天省出產の大宗たる大豆及び豆粕の本邦及び內淸等に輸出せらるゝとは又た贅言を要せさることなり而して日露戰爭以來輸出額減少し昨年の如き黃豆青豆約二十万石に過ぎず豆粕僅に三十七万六千余枚に過ぎずして之を從前の輸出額に比するに相去る實に遠きの憾あり今や已に平和克復の後を受けて商業振興の時期に屬す蓋し大に之が輸出を獎勵せさるへからすとの意を以て奉天將軍は財政局に命し黃豆青豆及び豆粕の輸出に際して徵收し居たる營口の所謂八厘捐税を裁免する旨布達したり時宜に應せる施設と曰ふへし

▲**農作試驗場** 新渡戶博士の勸告橫山農學士の指導の下に農作試驗場の設定さるゝことは前便所報の如し則ち其幹部として農務公所なるものを東塔村永光寺內に設け總辦に編修魏景熊氏任命せられ提調一名各科技師六名を置く計畫なるが其農作試驗場としては大東門外五里橋內務府官地一百余畝、東塔村戶部官地二百余畝を普通農作場とし大東關以東渾河以西の官地中花園、菜圃、及び牧廠、魚池を設くる由にして一、禾稼科 二、菜蔬科 三、花草科 四、果木科 五、牲畜科 六、魚鳥科の六課に分ち其發達を計るべしと云ふ序に橫山農學士は已に技師長を囑托せらるゝ事に決し尙ほ技手二名を本邦より招聘する筈にして各種の準備已に着々として歩を進め居りて來月より開場の運びに至るへしとなり

▲**遼河の測量** 此次趙將軍は湖北工防營出身の應大生称乘釣兩名の學生を派して遼河の水勢淺深等を測量せしめん爲め己に近日出程せしむへしとあり又た當地南關小河を開鑿して渾河に通せしむるの擬策其筋にありと聞く寄語す遼陽の杜萬頃先生閣下の運河の議不幸にして眼界狹小なる日本人の容るゝ處とならず閣下の所謂將軍の妹婿なる(其實は噓)何原琦を介して將軍に献策しては如何

▲**通江子と溝幇子** 趙將軍の赴任以來勤めて地方行政に干涉し又た新設の縣を設ける所謂官吏の數を增加せんとするに意あるもの丶如しされ果して策の上たるものとすへきか否やを知らすと雖も遼西溝幇子の地近來漸く繁盛を來たしつゝあるの狀よりして曩きに地方官新設の議あり今又た通江子の繁榮に對して程知府を派して調査せしめつゝあるか但し通江子にも地方官を擬設して直接該地を經營せしめんとの議ありとなり

▲**女子師範學堂** 當地に於ける女子師範學堂は學堂監督としては知府王伯安氏の夫人たる章雲卿女史命せられ敎師として前田茂子女史の外英國婦人一名を招聘せられたるか多分來月頃より開校の運びに至るへしと云ふ

●**遼陽城外の邦人家屋** 遼陽城外なる邦人家屋中の多くは兵站司令部の保管する官屋を借受け使用するものにして今は軍政署の管理に屬するものなるが借受人は家屋の大小等級により一定の貸下料を納め使用しつゝありしに近頃家屋引揚けの聲誰れ言ふとなく傳へられ同官屋居住者は一方ならぬ大恐慌を惹起し中にも氣早き連中は普請半ばにして普請を停止するあり他に民屋を搜索するもありて事態甚た穩かならぬ一奇現象を示せり之が原因を聞くに其の筋に於ては遼東ホテルに對し一片の注意を與へられたるより斯くは風評の傳播したるものと知らる素より何時にても引揚くへき條件の下に貸下を得たるものなれは命令の一下と共に此に應するの覺悟に要すへきも當初貸下家屋の過半は破壞敗頽し到底居住に堪へされは多きは數千圓尠きも百圓餘の修繕費を加へ營業するに差支なき程度迄各自修繕をなして今日に及へるなり而して又多くの居住者は料理業に投したる修繕費等尠からさるを以て一朝立退きの命に接せんか忽ち其の業を失ひ假令他に新らしく民屋を搜索するとするも適當の家なくば如何ともする術なく況んや從來苦心して收得せる利益金の多くは業に既に修繕費に投入し盡くし餘力なきもの多數を占め取りも直さす致命傷となり又起つ能はさるは明かなるより遼陽日本人會は此に見る所あり過日評議員會を開き官衙保管家屋借受後明渡請求を受くる場合に於ける立退料評價に關して熟議の結果向井高田の兩氏を委員となし其の筋へ交涉するに決したるが兩委員は目下交涉中なりといはへ何れ近日の內解決を見るに至らんかといふ(遼陽通信の一節綠城生)

●**支那人向雜貨** 目下當營口に於て支那人間に需要せらるゝ重もなる本邦雜貨の種類及び値段を某商店に就き調査せるに大凡左の如しといふ

一、洋傘	一打に付	十圓內外
一、雨傘	一本に付	七十錢位
一、白縞衣服地	三十ヤル物一卷	四圓
一、無地物衣服地	大巾一丈八尺物	二圓八十錢
一、被面子(敷布)	一枚	一圓內外
一、手巾(タオル)	一打	六十錢より一圓迄
一、鏡	一打	五十錢より五圓迄
一、扇子(主に名古屋製)	一打	五十錢內外

●**遼輸愈々株式と爲らん** 豫て高坂景顯氏等發起し熱心盡瘁しつゝある遼河輸送業者の個人營業を全廢し純然たる株式會社の組織になさんとし熱心奔走しつゝあるとは既報の如くなるが其後同氏等の運動着々進捗し主なる實業家の意見を叩きたる所何れも熱心に贊同を表したる由にて既に今日迄發起人として顯れたる人は、松倉善家、平岡佳吉、田中賴之助、飯塚松太郎、宮井治一、島內義雄、井上泰三、武石房吉、吳大壽の九氏にして愈々兩三日中には正式の發起人會を開き諸種の事項を協議し一般より株式募集に着手する筈なりと云ふ最も現在の營業者にして希望の人は特別の條件を附すと云ふ

●**第六回大連彩票當籤** 去る十三日抽籤せる第六回大連彩票當籤番號一等より三等迄は前號の紙上に記載せる如くなるが今當地裕和盛の取扱に係る彩票中當籤の分左の如し

當籤番號	金高	當籤番號	金高
五三七八	二圓	六九二六	十圓
五三八二	二圓	七〇〇〇	五圓
五三八七	百圓	一〇〇三四	二圓
五三九五	五圓	一〇〇四七	二圓
五四二四	十圓	一〇〇五六	二圓
五四三〇	二圓	一〇〇六〇	二圓
五四三七	二圓	一〇〇八七	二圓
五四四二	二圓	一〇一二九	五圓
五四五二	二圓	一〇一三五	二圓
五四五三	十圓	一〇一四一	二圓
五四七一	四十圓	一〇二二九	五圓
正四七二	二圓	一〇二九四	二圓
五四七六	二圓	一〇二九五	二圓

計二十六票

●**小蒸汽とジヤンクの衝突** 昨朝十時過ぎの事なりき仙波少將を迎へんとて小蒸汽船飛隆號は牛家屯に向ひ航行中遙か前方に當つてジヤンクの營口に進行中のものと殆ど同航路を取りたる爲めアワヤ互に船體を替はさんとすれども何分双方共に全速力にて進行中の事とて如何とも詮術なく終に衝突し憐れジヤンクは中央の檣を折られ瞬く間に沈沒し爲に檣下に佇み居りし船夫一名は頭上に輕傷を被りたりと險呑なる事なり

●**仙波少將の去來** 大石橋駐屯守備旅團長仙波少將は昨朝來營軍政署及び領事館に至り午後三時歸橋せられたり

●**杉原榮三郎氏** 東京市部會議長杉原榮三郎氏は淸韓兩國商工業視察の途次韓國を經由して昨朝來營目下金城ホテルに滯在せり

●**村井吉兵衛氏** ヒーロ莨の製造元たりし村井吉兵衛氏は夫人と共に昨日旅順より來營金城館に投宿せり

●**岡田雄氏** 中央新聞記者岡田雄氏は別項記載の杉原氏同伴滿韓視察の途次昨日來營同じく金城ホテルに滯在

●**山本發次郎氏** 大阪の綿布商山本發次郎氏は滿洲綿布市況視察の爲め昨朝來營金城ホテルに滯在中なり

●**後藤節藏氏** 同仁會理事後藤節藏氏は同會業務視察の爲め昨朝來營金城ホテルに投宿

●**人の噂(五)** 日淸實業協會といふが出來た、會員は日淸兩國人の一粒選、日本人側で二十二名、淸人側で二十二名、會長は正金の中村錠太郎、副會長は東永茂の潘玉田と、大小道具衣裳、床山まで揃ひ、愈々幕開きまで漕付ける、併し日淸人の會合は、恰も舊役者と壯士俳優の合同芝居の如く、丸く納るや否、ヨ、一番見物なり、但し日本側には搬帳役者多し▲各地の日本人會を見るに、大連は會長と倶に自殺し、安東縣は病死す、奉天は痺疳の小兒の如く、生立より消極の方針を把り、遼陽は食中風の貪食の如く、力を計らす仕事にアセリ、牛莊は肺結核の如く、最早死際に頻す、而して鐵嶺未た懷妊中にあり、首尾よく平產するや否▲滿洲に自治制の摸範村あり、靑堆子村と云ふ、宮崎村長小泉助役の外、收入役に五十嵐某あり、書記、村營、敎員より小使に至るまで悉く、橋梁を架し、埋地を築き、只管に自治の制を敷く、一村和合して、緩急相助け、慶凶相吊ふ、黃塵千丈の裡にありて、別天地の觀をなす▲杏村居士、題枕の五絕を賦す、曰く「稟性甚躁急、兀坐豈何堪、有閑凭汝眠」と、二本町の某妓、和して曰く、汝に因て錢を儲くと

●**營口花信** 日本館のお龍さんといへば營口切つての凄ごい腕前を持つて居る其溢るゝ許りの愛嬌面で是迄幾多の鼻下長連を操縦して人を馬鹿に仕切つたが今度は奴さん何ういふ惡魔の魅入りか木の字の二つ並んだ何んでも遲く無いといふ異名のついて居る或洋行の若旦那にヅタ浸りに彼り込んで御百度を踏んで居るので大事な御商賣がお留守に爲つて居るげなそれが爲め營口市中で失戀の爲め焦がれ死に爲らんとする御連中が永世街で三十六人元卿廟街で二十人重盛街で七十八人あるさうな併し餘り罪のあるとをすると天罰が覿面ですよ

●**正誤** 昨紙婦人科病者の便益てふ記事中一般望の人は入院又は診察云々とあるは記者の誤聞にして軍政官の許可を得たる者にあらされは許されずと云ふ

火車時刻

關內外鐵道

上り
營口發 前八、二〇 七、〇〇
溝幇子同 九、四五 九、〇〇
錦州同 后三、四五 二、〇〇
山海關着 六、〇〇 八、一〇

下り
山海關發 前七、〇五 四、四五
錦州同 后三、三五 二、〇五
溝幇子同 二、四五 四、四〇
營口着 四、五五 七、五一

山海關發前八、一五 五、〇〇 北京發前八、〇〇

東淸鐵道

新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七
溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五七

上り
營口發前六、三〇 后九、三〇
大石橋着同七、二〇 一〇、二〇
大石橋發前八、〇五 后一一、〇五

下り
大石橋發前八、一五 后二、一五
營口着同九、一〇 三、一〇
大石橋發前七、三五 后一〇、三五

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
營口ブリツジ 絞商 定門會
喜川鐵工

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下で御遊びを願
營口二本町 梅廼 田村瀧太

西海洋服店
歐米各國最新流行形
(電話百二十)

天氣豫報
營口地方天氣豫報
自十七日午後六時 至十八日午後六時
南の風晴れ

短篇小説 葬具屋（下の續）
（プーシキン作　吹田蘆風譯）

何タラ怪しからねえ事た、と考へ乍ら渠は飛び込んだ。——然し入つたと思ふや否や、足は棒の樣になつて、一寸も動けなくなつて仕舞つた。室は死人で一杯であつた。月の光が窓から差込んで、渠等の黄色いさては青い顏、落ち込んだ唇、曇乎した、閉ぢかゝつた眼や、細々と突き出た鼻を照らした。アドリアンは最早ブル〳〵物であつたが、渠等は皆自分の埋葬した人達である事は認め得た。それから自分の案内してやつた人は、沛然たる大雨の際に埋められた旅團長である事もわかつた。皆、男も女も寄つて集つて葬具屋を取り圍み、御辭儀をしたり、挨拶をしたりした。——つい此間無代で埋葬された貧乏人丈は、流石に襤褸の錦を恥ぢたのであらう、オヂ〳〵して出娑婆らず、獨り隅ツこに立ちすくんで居た。他の人々は皆身柄な服裝をして居て、婦人連は紐のある帽子を被つて居た。官吏であつた面々は、制服を着て居つたが、髭は蓬々として剃刀も當てゝない。商人共は夫々日曜服を着て居つた。

旅團長は云つた。「如何だ、プロホロッフ君、我々は君の御招待によつて、參上致した次第ぢやが、まだ來ない連中もある、即ち能う來れん人、美ン事碎片になつちやつた人、又最早皮膚はなくなつて唯骨丈けと云ふ樣な人丈けは、不參なのぢや。然しその骨丈け連の一人は、何うしても留守居をして居ることが出來なくなつて參じたぢや。——君に逢はふと云ふ意氣込の凄じい事は、推して知る可しぢやないか。………」

矢庭に小さな骸骨が、大勢の中を押し分けて、アドリアンの側にやつて來た。其の髑髏は、葬具屋を見て憫然と笑つた。古ぼけた麻布は、寸断々々になつて、骸骨の周圍にブラ下がつてゐるが、恰棒に附着いて居る樣だ。足の骨が、兎の皮の長靴の中でガタついてゐる樣は、臼の中の杵宜しくである。

骸骨曰く「オイ、プロホロッフさん、君は僕を覺えて居ないのか。僕は近衛兵の軍曹だつたペエテル、ペトロウイッチユ、クリルキンだが、君は千七百九十九年だつた、僕に棺の初賣をやつたが、能くも柏の木の棺だなぞゝぬかして、松の木の奴を賣り付け居つたな！」斯う云ひ乍ら骸骨は骨の腕をヌッーと葬具屋の方へ突き出したが、アドリアンは滿身の力を籠めて絶叫した。骸骨を突き離した。ペエタア、ペトロウイッチユは、タヂ〳〵と蹌き倒れて、哀れや粉々になつて仕舞つた。死人達は大に怒りをなして、皆ブー〳〵云ひ出した。渠等は仲間の名譽の爲に起ち上がつた。——アドリアンに罵詈や威嚇文句をあびせ掛る。可哀相に老爺は、その聲に魂の居所をとツクリ返し、アヘヤ死なむと許り、夢中になつた、で近衛兵の軍曹の足の上に打倒れて、正氣を失つて仕舞つた。

朝日は大分前から葬具屋の寢床を照らして居た。遂に渠は眼を覺ましたら、下女が炭茶器の石炭を吹いて居るのを見た。アドリアンは前の日の事件を想ひ起こして、慄然とした。ツルツシンや旅團長や軍曹があり〳〵と現はれて來る。默然として渠は、今にも下女が昨宵の冒險的事件を話し掛けるだらうと待つて居た。

下女のアクシンヤは渠に着物を渡し乍ら、云つた。「隨分御寢坊をなすつたゞねえ、旦那樣、御近所の仕立屋さんと夜番の方が來つて、今日は此市の警察官の命名日です、と云ひましたゞが、旦那樣中々御起きにならねえ案梅式だから、御起こし申さなかつたゞアよ。」

「して死んだツルツシン夫人の所からは何人も來なかつたか。」

「死んだとは!? それおやあの方死んだだかね？」

「ポンツク奴ツ！ お前が第一、あの方の埋葬の仕度をする爲に、吾儕の手傳ひをしたぢやねえか。」

「旦那樣ア、ァア正氣であらつしやるのけえ？ それとも昨宵の醉が未だ醒めねいのけえ？ で一体何んな埋葬が昨宵ありましたかよ。旦那樣ア、昨日は一日、獨逸人の所で御馳走におなりなすつて、ズブロク醉つて家へ歸つて來なすつただ、が直に寢床の上へゴロリとなつて、早供養の鐘の響く今時分までも寢てゐらつしつたゞよ。」

「ソリャ眞實か。」と葬具屋は嬉しげに云つた。

「當然だアよ。」とアクシンヤは答へた。

「何だ、そんな事なら、直茶の仕度をしろ、それから娘達を呼んで來い。」（終）

○　いねの江

吾れ海外に漂ふてと、爰に十星霜、事意と違ひ轉た人事のはかなきをかこつ、されど又華嚴の淵に沈まん程の、怯者男にもなれず、折にふれては、天に唱ひ地に嘯くをてよなき今生の慰藉とは極め終へぬ、而も之を敍するに戀てふ人のあるにもあらねば、又之を語るに、歌仙俳匠の圍坐するにもあらず、常に同好に示して、吾か心事の萬分を慰めんと希ふのみ、仰ぎ希くば酸甘なめ盡したる記者各位、あわれ予が心事を酌みて、寸地の餘白を惜むならんば、幸甚とや祈るなむ

朧月
見る人の心たかわし朧月
過ぎにし春に二人みし夜と

夢
夢は今洲をへたてゝ通ひぬを
なとてつはさのなき身なるらん

春雨
春雨の窓打つ夜半や故郷に
妹かきぬたの音忍はる、

告示

五月十四日第五、六回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得可し
當籤者は五月廿五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ賞金受領す可し若此期限を經過するときは其當籤効力は消滅す

二、賞銀額
一等　銀五十圓　二等　銀十圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

譯文
本月十四日施行第五第六拈鬮鼠票得彩號碼如開於左矣其得彩者五月廿五日以內各携原領執照往赴衛生局領銀可也若過期不赴領者將其得票爲廢爲此特示

賞銀額
一等　銀五十圓　二等　銀十圓
三等　二圓　四等　一圓

第五回捕鼠抽籤當籤番號

一等　三二一四
二等　八二　三二七六　三五〇九　三三九一　一一二二
三等　三九五　二八九四　二五四五　一九三八　八五三　二六〇四　四一一　一八二七　八四九　二〇三五　二八八三　三六一八　六三八　八三七　九〇四　一四四六　三一四三　二二九九　三二八八　二八三五　三三五〇　二八五　三〇一二　一八四八　七八七
四等　二一二八　九五三　二二七九　二五八四　八五七　五三五　二〇八四　九九三　二六六七　二九〇〇　一一三七　一七五一　二四四三　四〇二　三八九　三二一四　二一八五　二八四八　六九　七六七　二八六　二八二八　四三九　二〇一六　一九九四　三五九四　一九二三　二七八　七二　六五三　六五四　二九五　七〇三　五八九　一三七一　一九一三　二四七二　三五九六　三〇九〇　四〇一　四六二　二一三八　三四〇九　三一六六　二三二〇　四一　一八五七　一〇七九　一九四一　二八八九

第六回捕鼠抽籤當籤番號

一等　四〇六
二等　三〇八七　三一八二　九八九　四二　二〇六二
三等　一二七一　二三九四　三一一〇　一〇六一　四〇七　三一六九　六五五　二八六一　八五五　三二六三　一三七〇　八七四　二三二四　一八五二　二九九〇　二八六五　四三〇　二五一九　一八五三　一八五四　三〇二　四〇九　三〇一三　二一三一　三三二七
四等　一九一五　三〇三〇　三四〇六　二四四三　一四〇四　三〇九四　一八九五　二二四八　二二七三　八〇四　三六一五　一八四九　一三五八　三二一二　一七九三　九〇五　二二五七　一八六七　三四七八　三〇九一　一二九一　二八七七　一八四六　一七三　三〇七七　三一三二　二三〇　三一五〇　二一　一三九四　三二〇七　一三二四　三九三　三二四七　三五九〇　三一一四　二八六二　二八八六　三一二〇　一二六　二八七三　三〇九四　一五六二　三三二二　五九七　四〇〇　二四一六　二九〇七　一五一〇　二〇三一

告示

嚢キニ公衆日本文電報ヲ取扱ヒシ滿洲各地通信所ニテ五月十五日即チ清曆四月二十二日ヨリ中國電報新編ニヨル清國文公衆電報ヲ取扱フコトナレリ其電報料左ノ如シ
一、滿洲各地並ニ韓國ニ到ルモノハ一句四字毎ニ十錢トス
一、滿洲ヨリ日本ニ到ルモノハ四字毎ニ三十錢トス
右告示ス

明治三十九年五月十四日　營口軍政署

告示

凡前所通達日本電報之滿洲各通信所今擬定自東歷五月十五日即清歷四月二十二日起凡通滿國電報者可便用通行電報號碼特將電費開列於左
一、滿洲各地暨高麗每句按四字一核算銀一角
一、滿洲至日本每句按四字核算銀參角

明治三十九年五月十四日　營口軍政署

廣告

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

●森病院
院長　醫學得業士　森矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

銘酒 劍菱 新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向ひ　池上出張店

廣告　美人投票

弊館來六月四日より向十五日間祝開業一週年左の方法を以て美人投票仕候
容貌及遊藝の秀でたる美人各一等より十等迄を當撰者と定め左の賞品を贈與します

一等　純金指環　元價　三十圓
二等　寫眞機械　コタック　同　二十五圓
三等　全紙二枚掛引伸　同　二十圓
四等　全紙行伸　同　十圓
五等　半切引伸六圓　六等　四ツ切引伸四圓半　七等　八ツ切三圓半　八等　カビネ二圓半　九等　紀念帖一圓半　十等　繪はかき三打

等級は最高點者を一等とし以下是に準じます
右の內一等より五等迄の當撰者は精巧なる寫眞銅版として廣く滿洲日報購讀者へ配付し名聲を世界に發表します
以上の方法を以て美人投票仕度候間御贊成の諸君は弊館に付て投票用紙御求め被下度弊館は撮影金額に應じ（一圓に付十枚の割）投票用紙を進呈します一時に多數御入用の方は便宜上弊館の寫眞撮影券を御購求下されば同上の割合にて進呈します右撮影券は二圓五十錢、五圓、十圓の三種にて三ケ月間有効です體裁等も頗る高尚なれば進物用にも適し至極重寶です
投票の場所は永世街鶴の湯の前、日本町東京館附近、三船寫眞館路地の三ケ所に備てあります隨意に御投票を願ひます、投票の結果は公平を保つため滿洲日報社員及料理組合取締事務所員の立合を請ひ開札し每日滿洲日報に掲載します

月　日
營口元神廟街
三船寫眞館

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
——
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

山口縣人親睦會廣告

來る二十日午後正六時營口時計より二本町日本館に於て第三回親睦會開催候間御誘引御出席被下度希望之至り候
一會費銀三圓當日御持參の事
一御出席の方は二十日正午迄に日本館へ御申込被下候

五月十七日　山口縣人會幹事

各位

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候　敬白

營口二本町　祇園閣旅館部　主人（電話二四四番）

會席料理　三日月　營口警務課前南に入る

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候

月　日

支店　鐵嶺西門外火神廟六十一號　高砂ホテル

和洋雜貨
盛進商行
新着
椅子　卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

開業廣告

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

月　日
元神廟街二四八號（電話局向）　義安公司

取扱
一稅關手續　一倉入貨物
一船舶貨物　一貨物保管
一日本帆船　一委托販賣
營口永世街市街鐵道驛前
心　精心洋行
主任　岡本嘉吉

瀛船出入港案內
盛航丸　廿四日入港
能登丸　門司直行四日市行
御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

外國船舶代理係貸借仲立　輸出入稅關手續
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業
西北街　徳重洋行

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南憲第三十六號　北斗洋行質屋部

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股

昌

滿洲昌圖株式會社
營口分局
營口元神廟街第貳九八號

總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大清通運公司連接）東清鐵道沿路稱要各站分局現方在設備中
倘蒙源貨客愛顧務祈貨客親自到本號房及各處分局帳房面議爲荷特譯白傳將途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價如補此

第二回新荷着
恵比壽ビール
金升洋行
盛進商行

美味安價西洋料理　牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
（電話八十六番）

ペンキ塗請負　京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

東營口西北街
裕和盛
電話八番
東清鐵道
遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール　日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋鑵詰、食器
內外煙草、葉卷
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣
彩票
每月　大連　鐵嶺　南洋　湖北　發賣
本店　長崎
支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

清國營口二本町二五五號
主任　鹽川峯吉
（電話一三六番）

發賣
材料木
標子
木版
鹽川商會
遼陽小西門內
鹽川商會
●建築
外に
用材
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

發賣
料木、杆子（一丈 一丈二）
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切御賣
日本酒春駒一手販賣
捌荷洋行
營口元神廟街
（電話一四七番）

工
飯塚工程局材料部
營口元神廟前
（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

材木
荒物
販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

廣告
大阪鐵田組支店開設
今度新に內地より技師及職工を備聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らす御注文の程奉祈上候
假事務所營口西北街高砂ホテル內
主任　鐵田米吉

萬事勉强乘車船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主　熊田兼次郎
（電話百七十八番）
御席和洋料理　東京樓支店
（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

一、稅關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物（便利ヲ計リ可申候）
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換へ配達致ハ保管可申候
市場時計北店三ノ二階樓階
宮原公司

一大勉強
一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前 銀三十錢より
一まめめし　御一人前 二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
營口元神廟街二〇九號
月　日
翁亭

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戶口茂里代て事務を扱ふ
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

御料理
板場新來丁料理は高尙ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ雪月花ノ會席へ御意ニ從ヒナンデモ仕餘
ゲンシン　ピロガイ
まつのや
新來の妻等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　全 松吉　全 ふで
義太夫　二〇か　牛莊
御客様方

開行 天津 北京 山海關着 六、一〇 大連着 六、五〇 昌圖着

御引立の程偏に御願申上候

永世街一四一(森病院三軒目)

氣溫 最高溫度六十五度七 低七度三 最低溫度五十三度一 低一度九

宮門抄

二十日

理藩院 光祿寺 八旗兩翼值日吏部引見二十七名 工部十一名 值年旗三名 廂白蒙二名 武備院二名 造辦處一名 醇王由丫髻山回京請 安 伍廷芳謝賞假三個月毋庸開缺 恩 李毅藻謝署缺 恩 孚琦假滿請 安 澧深請假十日 樸壽請假十五日 順天府奏京師得雨三寸有餘

恒敬保桂張士翰伺候 召見

召見軍機 恒敬 保桂 張士翰

學部遞封奏三件 陳恒慶遞封奏一件

上諭恭錄

二十日奉

上諭學部奏請簡放提學使司提學使一摺奉天提學使着張鶴齡補授吉林提學使着吳魯署理黑龍江提學使着張建勳補授直隸提學使着盧靖署理江寧提學使着陳伯陶署理江蘇提學使着周樹模署理安徽提學使着沈曾植署理山東提學使着連甲補授山西提學使着宗室錫嘏補授河南提學使着孔祥霖署理陝西提學使着劉廷琛署理甘肅提學使着陳曾佑署理新疆提學使着杜彤署理福建提學使着姚文倬補授浙江提學使着支恒榮補授江西提學使着汪詒書署理湖北提學使着黃紹箕補授湖南提學使着吳慶坻署理四川提學使着方旭署理廣東提學使着于式枚補授廣西提學使着李翰芬署理雲南提學使着葉爾愷署理貴州提學使着陳榮昌署理所有編檢御史署理者均着開缺以道員用餘着照所議辦理欽此

軍機大臣面奉

諭旨本月二十三日所有進內奏事當差之王公百官均着穿蟒袍補褂欽此

奏議

吏部奏遵議廣東添改道缺及升改州縣事宜摺

奏爲遵 旨議奏事內閣抄出署理兩廣總督岑春煊奏廣東添設廉欽道裁改糧巡各道及升改州縣各缺事宜一摺光緒三十一年十一月初十日奉 硃批該衙門議奏單併發欽此欽遵抄出到部查原奏內稱前奏請將廉欽道定爲衝繁難邊遠要缺由外揀其人地相宜者酌量升調揀補應請爲題調要缺至崖州本係烟瘴難調缺原定三年撤回均由外酌量升調揀補今崖州升爲衝繁烟瘴直隸州要缺萬州改爲萬縣所有該兩缺題調字樣應請悉仍其舊惟原設之肇陽羅道本係衝繁選缺今改爲廣肇羅道兼轄首郡政事殷繁擬請定爲衝繁題要缺由外揀其人地相宜者酌量升調揀補現任人員業已 奏准仍舊應俟將來該道缺出查照辦理該道駐紮地方原奏請移駐省城茲查肇慶爲兩江要衝宜有大員鎮攝擬仿廣西桂平梧道駐紮梧州之例將該道仍留肇慶毋庸移駐省城其擬改之瓊崖道高雷陽道員缺均無更易應請毋庸再議又請升之崖州直隸州知州改設之萬縣知縣其現任人員均請撤回按照裁缺即用之例分別另補即將升改兩缺另行揀員請補擬請俱照新設員缺之例由外酌量揀補一次俾資治理其餘應行裁改各條謹繕清單恭呈 御覽飭下政務處會同各該部核覆等因臣等查原奏所議各節均係爲因地制宜起見添設之廉欽道一缺前奏請定爲衝繁難邊遠要缺由外揀其人地相宜者酌量升調揀補既係升調兼行應准作爲題調要缺其原設之肇陽羅道本係衝簡選缺今改爲廣肇羅道兼轄首郡政事殷繁請定爲衝繁題要缺一節查定例應歸月選之缺改爲題調要缺必須於本省題調要缺內酌改簡缺互換等語今廣肇羅道改爲題缺並未酌改簡缺互換於例似有未符惟今昔情形不同地方轄境亦異既據奏稱兼轄首郡政事殷繁且查該省道缺內除現在添改二缺外均係請 旨缺分並無可改歸月選之缺自未便拘於成例廣肇羅道一缺應准定爲衝繁題要缺毋庸於本省題調要缺內酌改簡缺互換嗣後各省如有請改缺分仍不得援以爲例該缺現任之員業經 奏准仍舊應俟將來缺出由外揀其人地相宜者按題要缺之例酌量請補該道駐紮肇慶爲兩江要衝鎮攝撫綏均關緊要應仿廣西桂平梧道駐紮梧州之例仍駐肇慶前奏請移駐省城之處應毋庸議其擬改之瓊崖道高雷陽道員缺既無更易應准仍舊至崖州升爲直隸州萬州改爲萬縣地方本無更易員缺未便遷就崖州本烟瘴難調缺三年撤回萬州本烟瘴疲簡題缺調五年撤回均由外酌量升調揀補今崖州升爲衝繁烟瘴直隸州要缺萬州改爲萬縣仍係烟瘴缺分所有原定題調字樣應准仍舊其崖州直隸州知州萬縣知縣員缺既經升改應另行揀員請補並照新設員缺之例由外酌量揀補一次兩缺現任人員均應撤回按裁缺即用之例分別另補其餘應行裁改各條謹分別繕單恭呈 御覽伏候 聖裁所有遵議廣東添設裁改各道缺暨升改州縣各缺事宜緣由謹繕摺具陳伏乞

皇太后 皇上聖鑒再此摺係臣部主稿會同政務處各部核議合併聲明謹 奏奉 旨依議欽此

中外要聞

●條陳改外省官制 政務處消息日前有某大臣條陳要政請增改官制略請將各省巡撫一律改爲總督所有各分巡道一律裁去增設十使司於鹽運使提學使外再增設財政使司法使巡察使督練使交涉使商務使勸農使郵使聞此摺已交政務處詳議覆奏

●火險公司虧累不能償欵 基喀哥商務火險公司關於美國金山爲災一事虧累頗鉅竟對於訂約者不得撥給現聞股東等虧欵七十萬弗又將所有保險單估計價三千二百萬弗一律作廢

●新任汴撫行程 新任河南撫台張中丞聞已於四月初五日由署起節至汴在衛輝下火車由柳園口南渡進城擇十八日受篆視事護汴撫瑞方伯已札委王令文光李令慶閣辦理支應差務云

●民教平和會第一次集議 福建泉漳兩府近來民教輒起齟齬皆由其始不善理處遂致釀成巨案厦門十八保董事有鑒於此於是邀集諸董事公舉洪君元濱爲總董集議銷弭禍患之法經已六次英美領事及教士均表同情乃知會兩國領事教士并邀請諸董事於三月二十七日會於鼓浪嶼英國牧師山雅各洋樓共議仿照福州設立民教平和會保地方之治安是日到會者英國副領事及牧師教員醫士等七人厦門總董事洪元濱及各董事報館協理小學堂教習等十八人中外職公舉山雅各爲主席山略演說立會宗旨麻領事論教會諸事當如何接收教友如何干與其交涉事件並天主耶穌兩教之教友彼此移易過會當如何謹愼以杜其生事之漸迨此民教平和會成立民教交涉之事件彼此平情爲之辦理當有遠勝於經官審訊萬萬者議論一小時許衆皆贊成後請各董先行訂定辦理章程約於本月初五再行集議

●奏請設立鄉官 顧侍御瑗日前遞一封奏聞係請於各州縣添設鄉官公舉練達時事之舉貢生員充當是任以樹立憲之基礎等情聞原摺已交政務處議奏矣

●俄皇諭開會議員 俄國議院當於今日開會想必有舉行盛典以壯觀瞻者聞俄皇是日在冬宮對於羣臣宣降諭旨云

雜報

●禿鷲網利 岳州城北山舊有娘娘廟先遭浩刦近復薪修歷年四月十八日聖會中於他處而演劇開山四方雲集凡附遠近城鎮鄉村人民赴會者香花紛沓無慮億萬社會五盤首二檯杆高若百尺上扮天女二持劍立餘會尾後簫鼓喧闐極爲熱鬧山下百行列肆諸業聯排間雜九流藉營生計觀會者漫對遍山一望無際昨聞人云該廟和尚法號海峰身入空門心在塵境專交俠少善接勢豪藉以募化萬方布施直達北京一帶今年會場開山賭架棚十三座每棚日納各項規費八十餘元該僧自受五元其餘百行市棚二百餘座每日各納銀洋五角外有就地設攤諸小營生并薙髮市藥賣卜者或日納二角一角一切盡歸僧橐云

●天津久旱 昨聞天津所來人云該處周廻數百餘里由春際夏未霑霖雨田禾莫由佈種近來糧行漸漸增漲民情因爲憂惶以致南來糧麥等船現下均向該埠駛放云

●暴雷擊物 前宵西北潮雲黑翻如墨頃而驟雨疾風雷電交作多時乃止至夜半雷又虺虺陡發霹靂一聲屋宇幾爲震動昨晨市人紛紛傳說云河北某處擊斃一蚰蜒長若擔杖人言如是未識果否

●總稅失權 河北郵局昨有友人來曰凡中國海關郵政全屬西人赫官保德字祿賓督辦一切聞由來所進郵費不敵經費所需 朝廷年年須賠多欵邇來赫公因衰老致任 上諭留節不得復命鐵大司農良代赫公任、務部侍郎唐紹儀爲會辦聞二公深明時事此番督辦海關郵政必有一番整頓云

笑林

●造人細 有自由女與新少年往來既稔彼此相得因與訂婚而不知新少年固已有妻者也將屆結婚時期新少年謂自由女曰此後汝便要造人世不能如前之自由汝想眞正好如其不能則自今解約猶未晚也自由女嗷然應允及結婚後查悉新少年已有妻與之反目新少年曰此事我已言明汝亦應允今何以此相責自由女益責其胡說新少年曰我不云乎此後汝便要造人細不能如前之自由汝已應允遂忘之乎自由女語塞

●趁地淋 某甲於光緒二十七年捐一知縣因循至今尚未到省日來忽決意稟到或扣其故問何以數年不思到省今乃毅然啓行甲曰某捐此官豈爲名耶亦爲利耳今春雨水如此其多我輩欲剷地皮可不趁地淋乎或曰汝倘有些本心相時度地然後爲之若吾所見之官則不知天低地薄惟有硬掘而已

NEWCHWANG, FRIDAY, MAY 18, 1906.

The Japanese gunboat "Akagi," Capt Hakui commanding, is reported to be due here on the 21st inst. (next Monday).

We are informed that, the rain interfering, the Tientsin Races were begun on Wednesday last instead of Tuesday as originally intended.

It is learned with delight that, on the opening day, Mr. H. A. Bush's favourite "Iris" won by a walkover the 6th event the "Peiho Stakes" with a purse of Tls. 175.

We congratulate Mr. Bush on this propitious beginning and wish him successive strokes of good fortune.

From the result of the Shanghai Champion Cash Sweeps just to hand, Newchwang is found to have drawn 3 and won the 3rd prize worth $2,145, which is to be halved between Capt. Nuttal of the Pilot Association and Capt. Dowson in command of Messrs. Butterfield & Swire's steamer "Kweiyang," to both of whom we tender our congratulations.

Capt. Dowson is to be doubly congratulated upon another windfall on the turf by far more magnificent. Fortune has reserved the 1st prize for him the sole claimant, who has found himself thereby $15,015 richer.

Mr. P. W. A. Scott who has been transferred from Soochow arrived at the port by the s.s. "Hsinfung" on the 15th inst., and joined the In-Door Staff of the Newchwang Customs.

We extend him a hearty welcome.

We understand that Mr. S. Takahashi, *hogakushi*, has been appointed Japanese Vice-Consul at Newchwang and departed from Tokyo on the 10th last.

YESTERDAY'S TOKYO TELEGRAMS.

The contemplated Anglo-Japanese Bank was offered in London for the subscription of shares on the 15th inst. Its incorporation was perfected on the same day with a capital of Y. 200,000,000 representative of 40,000 shares.

Messrs. Stewart and Rockhart, the British Commissioners, arrived at Tsingtao on the 16th inst., thence to proceed to the Provincial capital Chinan to confer with the Governor on the proposed restoration of Wei-hai-wei and on the construction of railway between Chinan and Yangtsekiang.

The Siamese Prince is said to depart from Japan for Fusan, Korea, on about the 20th inst. to travel through the peninsula and China on his way home.

Baron von Mumn paid a call on Premier Saionji on the 16th and M. Bakhnetieff did likewise on the following day.

Ambassador Hayashi called on the Premier on the 16th for an important consultation.

Fleet Admirals Kabayama and Ito, Admiral Inouye, Gen. Kuroki and several other high officers of Army and Navy will leave Yokosuka at the end of this month for Tairen, with a view to going over the scene of the late War.

Baron Kiyoura, Privy Councillor, will shortly start on a tour of inspection through Korea and Manchuria.

It has been given out by the Army Office that the military wharfage at Tairen has been made open to public use.

It is reported that Mr. Nakano, Chairman of the Tokyo Chamber of Commerce in conjunction with his associate delegates from Kyoto, Osaka, and Kobe, waited upon the authorities, to apply for information on the plans of the projected Mauchurian Exposition and to ask them if any financial assistance might be expected by the exhibitors, to which latter question a reply was given in the negative.

The local authorities of Osaka have decided on sending out to Korea twenty experts in varied lines of industry, with a view to promoting the Japan-Korea commercial relations.

The Tokyo Race Club newly organized held its initial meeting last Wednesday.

The Fusan Exposition was opened on the 16th.

The diplomatic representatives of the Powers at Peking held a conference at the Italian Legation in order to discuss the question of the recent Imperial Edict appointing two Chinese dignitaries to the supreme control over the I.M.C.

A Berlin dispatch states that a number of the members of the Reichstag are expected at Kobe, Japan, in the coming Oct. on the mission of instituting a personal inspection on matters of Far Eastern.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之取購本處者其價目格外公道 貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番） 第一營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川清三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 營口西大街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館料理 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶏の湯角

御料理 並ニ溫泉 毎日新湯 一力 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 仕松信大塩

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號） 奉天小西關大街北側

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉强キレーヂワイシヒ 奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館 料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉雞肉すき燒 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

旅館料理店 旭館本店 旭館支店 奉天大西關 奉天十間房 館主 原田新吉（電話 号）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團穂

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀春

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之丞

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家

御料理 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一二七号 上松榮治郎

今有賓州廳之東老營口街永增德郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元內有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見條付錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

奉天 天然淸水氷發賣廣告

倉庫儲 每倉庫約二十五万斤

特約一万斤以上

右發賣仕候間至急申込相成度候

奉天小西門外內 大仁洋行

遼陽城內東街 一和洋御料理 遼東館

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館 御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

今回海陸連絡の便を計る爲め當行滊船頼朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲內地には左の箇所に出張所を設け海陸輸送及輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也

大阪市西區西道頓堀貳丁目 本店 河邊商店

營口元神廟街 支店 松茂洋行

大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所

奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所

鐵嶺西門外 松茂洋行出張所

昌圖府驛 松茂洋行出張所

猶東淸鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

古料理 滿月 平野町（電一六二） 滿月支店 平野町入口 店主 青木勝惠

和洋會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

各位樣

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條倚不相變倍畫の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷幷に製本

弊所特色

●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確

營口永世街二本町入口東角 川本活版所

各國高等雜貨 電話百五十四番

新荷着

歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々

其外珍敷品澤山

營口永世街 川本洋行雜貨部

新荷着

高等麦酒スペシヤルライト

スペシヤルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尙夏期唯一の好飲料なり

釀造元 大日本麥酒株式會社

滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

（營口永世街）

回天堂三木大藥房

存案 天 招牌

經營項目

●各種靈驗丸散膏丹

●東西兩洋各種藥材

●各樣玻璃瓶子

●各種繪具染料

●消毒及繃帶材料

●肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨

●醫化諸學所用機器

●照相所用藥料及機器

●牙醫藥應用所有一切貨應俱全

（電話百九十番）

凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤端此佈告

爲替相場（五月十七日）

日本向 百〇一圓四分ノ一（一覽拂百圓に付）

上海向 七十一兩八分ノ一（同）

天津向 一百〇三圓八分ノ一（百弗に付）

日本品最近物價表

紙類 加藤洋行

一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢

一美濃紙 全 七圓五十錢

一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢

一全紙 二十枚綴 三錢二厘以上四錢

一狀袋 百枚 十三錢以上十八錢

室內裝飾品及寢具 矢野洋行

一帶圓 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓

一座ブトン 十帖 八圓五十錢以上三十五圓

一疊 二圓六十錢以上三圓

一薄緣 十枚 八圓

一麻緣通 一疊 三圓

一綿緣通 全 三圓五十錢

一由加多緣 全 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 銀四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙
廣告料 二十一字詰一行一回 銀二十仙